

田原本町立東小学校 学校だより

一明るく、楽しく、元気な学校一

2月

「ひがしっ子」
ひとにやさしい子
がんばって学ぶ子
しなやかで
たくましい子

体験的に学ぶことにより、培われる心の力

今年度も、残すところあと一月となりました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、三学期は一年の中で最も短い学期であり、慌ただしく過ぎがちですが、学校生活の一年間を締めくくる大切な時期です。子どもたちには、慌ただしさに流されることなく、充実した日々を送ってほしいと思います。

廊下を歩けば、「おもいでづくりをしよう」「お別れ会をしよう」などの学級活動の掲示が目につきます。学校としては、卒業式を控え、6年生の新たな門出を祝うために、「6年生を送る会」を21日（金）に行いました。それに向けて各学年が寸劇や演奏や歌唱など、出し物の練習に励む様子を見ていて、とても成長を感じました。

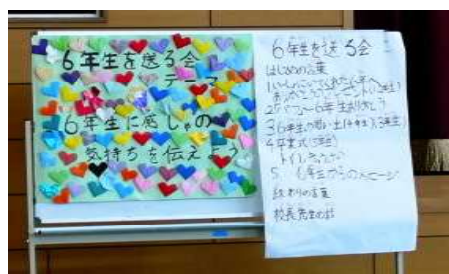
このような学習は、各教科の知識や技能を活用した発展的な学習という位置付けはもとより、友だちと協力して目標（心を一つにして創り上げること、実現すること）を成し遂げるといふ意味合いが強いと考えています。

練習の様子を見ていて、子どもたちから「体験的に学ぶことにより培われる心の力」を強く感じる時があります。その力とは、「自立心」「自己抑制力」「責任感」「共生」「寛容」などであり、体験という人の根底で考え学ぶ（創る・表現する）ということから得られる力だと思います。また、そのような体験から獲得する力は揺るぎない力ですから、難問に直面したときに応用が利きます。ましてや、その力が学級活動や学校行事という思い出に残る出来事の中での学びですから、後につながる自信にもなります。自信は、やればきつとできるという力につながります。そのような学年まとめのイベントになればと考えています。

このような心の力は、日々の学習や生活におけるさまざまな活動の中で、目標を達成したときに培われる力です。しかし時には、努力が報われないと感じるときもあるでしょう。

そんな中でも、子どもたちが、諦めないで努力するためには、何より「好き」を見付け

「送る会」では、全学年のありがとうの気持ちを6年生に届けました。



ることだと思います。「好き」が「やりたいこと」「夢」につながり、「好き→取り組む→できる→認める（ほめるなど）→さらに取り組む→もっとできる→ますます好きになる、他のことにもやる気が出る」という良い流れに導き循環させるように、家庭、地域、学校が協力していけたらと思います。よろしくお願いします。

コミュニティ・スクールの取組について

田原本町では、子どもたちの豊かな未来を創造するために、学校と地域が繋がり、協働する中で子どもたちが生き生きと活動できる学校地域づくりの取組を、昨年度より全小中学校で進めています。その取組を進めていくのが学校運営協議会です。2月18日（火）に本年度最後の3回目の会議がありました。統合も見据えながら、今、子どもたちにできることを考え、お家の方や地域の方々とも連携し、活動の輪が広がればと思っています。今後とも、御理解御協力をお願いします。

第3回の案件と報告

○今後の取組等について

第2回意見交換に関連して、現状及び今後の報告・提案について承認いただきました。

①参加内容の分かりやすい形でのボランティア依頼

→まずは、大掃除に来ていただくところからはじめました。

②全校音楽会等行事への保護者・地域の方の参加

→委員の方から御紹介いただいた地域の和太鼓チームに連絡をとり、調整中です。

③統合校との交流・東小の特色あるカリキュラム

→交流は低学年で始めました。来年度から他学年に徐々に広がっていきます。

→統合までの間に予想される児童・教員数減についてはご心配の声も聞こえてくるころです。課題の克服に向け、来年度より工夫した取組を始めます。近年、文部科学省が紹介したり主導したりしている教科担任制・単元担任制・チーム担任制等について、県内で実践が進んできており、町内でも検討が始まっています。その良いところを、東小の現状に合わせ、低・中・高学年の学年層の発達段階に応じて、工夫して学校システムに取り入れ、子どもたちにとってより良い教育活動のあり方について、みんなで情報共有しながら考えていきます。

○令和6年度学校評価について

本年度の重点的取組について、委員の方々から御意見等をお聞かせいただきました。ICTの活用については、学習によく役立てているというプラス面とともに、メディアコントロールなど御家庭と協力して取り組む必要があることなどの話題がありました。詳しい結果等については、別途お知らせします。



☆コミュニティ・スクールの取組に一年間御協力ありがとうございました！

